

6.7 わたしの命 大切な命

6月7日、市の「親子関係づくり支援事業～命の大切さ伝え隊 命の教育～」の第1回目が美哉幼稚園の年長組とその保護者を対象に開かれました。

日本助産師会の3人の助産師が、園児に人形や紙芝居を使って、自分たちがどんなふうにもまれてきたか、命の不思議などについて話しました。

お父さんやお母さんの「生まれてくるのが楽しみだった」という言葉に、園児たちは、うれしそうな、照れたような顔をしていました。



6.24 みなとの味を気軽に味わう

6月24日、「食のみやこ鳥取県 とっとりオリジナルメニューづくり支援事業」の補助を受け、市内の飲食店が「みなとサンド（仮称）」を開発し、試食会を行いました。この料理は、境港市で水揚げされる水産物を使用しており、季節に応じて素材を替えて提供し、今回は、夏の素材としてまぐろが使用されました。

試食会の参加者には、「予想を超えたおいしさ」「あっさりしていてまぐろのうま味が生きている」と評判は上々でした。

6.21 □ウソクの灯りに導かれ・・・

6月21日の夜、市民活動センターで恒例の「キャンドルナイト」が開催されました。

これは、電気を消して、環境問題について考えようと毎年、夏至と冬至に行われているもの。

ろうそくの灯りの中、鳥大医学部の学生によるマンドリン演奏に続き、境港漁業調整事務所の上田勝彦さんが「魚々^{ぎよぎよ}と話す話 生き物・人間が生きる道」と題し講演。生活の中で、地球のために何ができるのかを考え、実践してほしいと呼びかけました。



6.22 ♡落語の笑いで男女円満♡

6月22日、なぎさ会館で市男女共同参画センター設立5周年記念の講演会が開催されました。

米子市を拠点に活躍される落語家桂小文吾さんが、「男女で活かそう知恵と技」と題し、講演と落語を披露。躰の重要性を訴えながら、本芸の落語では、考え方を変えることで、人間関係も円滑にいくというお話をユーモアたっぷりに熱演。

途中、笑いの効能にも触れ、深呼吸と笑いを合わせた笑腹式呼吸^{しょうふくしき}を提唱し、会場を沸かせました。